

2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

1 事業の成果

2020年度の事業を引き継ぎ、新型コロナの感染拡大に対応しながら、オンラインでの開催を導入して、以下の活動を行った。

1) 在日アフリカ人共生・協働事業

アフリカにルーツを持つ子ども・保護者を対象とした「アフリカンキッズクラブ」を運営し、多様なアフリカ文化に触れ、交流するイベントを実施した。また、ヘアケア、学校生活での悩みなどを相談しあい、継続的に情報交換を行った。「アフリカンユースミートアップ」は、ユースが主体的に運営し、交流会やイベントを実施した。さらに、大学での講演、SNSでの発信、映像制作でも自分たちの思いや経験、差別・偏見などの社会課題を伝えた。なんみんフォーラム、移住連などと連携・協力して、アフリカからの難民・移民の人々への情報提供や支援、交流を行った。

2) ネットワーク形成事業

GII/IDI (*1) NGO 連絡会の代表を務め、政府（外務省）との隔月の対話に参加したほか、「COVID-19に関する意見交換会」を毎月開催し、テーマ別の勉強会を10回開催した。TICAD-NGO 連絡グループでは、第8回アフリカ開発会議（TICAD8）に関わる情報提供を行い、3月の閣僚会合の情報収集と提供、4月に開催されたマルチセクター合会の準備／調整を行った。他6団体と連携して「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！」連絡会（以下「連絡会」）で情報収集と発信、セミナーを実施した。

3) アフリカ調査・研究事業

特に脆弱な状況にある人々におけるUHC (*2) の進捗状況について当事者団体の協力の下に調査を行い発表し、国内外で反響があった。コロナに関わる国際的な政策動向について調査し、ブログ等で発信した。アフリカ熱帯林の課題については日本での啓発を目的に情報提供を行い、セミナーを開催してコロナ禍のコンゴ共和国の状況を中心に報告した。食料、農業に関する学習会を継続するとともに、国際機関や他のNGOと協力して「世界食料デー」月間の啓発活動やイベントを実施した。

4) 政策・提言事業

新型コロナ感染症に関する公正な医療アクセスの課題について関係省庁への要望書を提出し対話を行った。前述のUHCに関する調査結果をもとに、政府のグローバルヘルスに関する政策について啓発と提言活動を行った。「アフリカ最後の植民地」である西サハラについて、他団体と協力してセミナーを開催し、調査協力や情報提供を行った。アフリカでの三大感染症への取り組みに対しグローバルファンドをはじめとした資金拠出が行われるよう関係省庁への提言を行った。

5) アフリカ理解促進

グローバルフェスタに対面でブースを出展し、活動紹介や参加者、他団体との交流を行った。オンラインで交流会を2回開催した他、ウェブサイトの改定・更新を進めた。会報『アフリカ NOW』117号～119号を発行した。また、原稿執筆、講演やメディアインタビューを通し、理解を広げた。

6) アフリカ支援事業

会報『アフリカ NOW』で、モザンビークのプロサバナ事業とその後について、現地の農民団体/NGOで活動するコスタ エステバンさん、ヴィセンテ アドリアーノさんへのインタビュー記事を掲載した。国際保健分野では、UHC や新型コロナ感染症対策の現状についてガーナや南アフリカの市民団体に登壇してもらうなど、現地からの情報発信を行った。

7) その他

事業の効率的、効果的な実施のために、4つの常設委員会と1つの臨時委員会を各委員会の必要に応じて開催し、状況の把握、分析、改善点の確認と解決策の提案、実施を行った。